

「釧路港の役割と魅力を学びます」

～遊覧船から釧路港を見学～

日	時	令和5年10月22日(日)10時30分～12時15分
場	所	釧路港東港区及び西港区
対	象	釧路港近郊の小学生とその保護者 37名
協	賛	公益財団法人日本海事広報協会
協	力	有限会社アイコム

「世界で一番長い船はどれくらい長いのですか？」

北海道運輸局釧路運輸支局は釧路港近郊の小学生とその保護者を対象に、「釧路港の役割と魅力を学ぶ」ことをテーマとして、釧路港内で遊覧船を運航する有限会社アイコムの協力を得て、親子見学会を開催しました。

釧路港は酪農や畑作が盛んな東北海道の物流拠点港であり、平成23年には国際バルク戦略港湾（穀物）に指定されました。また、沖合底びき網漁船をはじめとする水産業が盛んな港でもあります。

東港区では海上保安庁の巡視船が停泊していたほか、巻き網漁船の水揚げが行われており、漁業基地としての側面を見ることができました。

波が高く西港区に行くことは断念しましたが、普段見ることのない洋上から平成31年に完成した国際物流ターミナルやコンテナ船の荷役に使用するガントリークレーン、碇泊している貨物船などを見て、物流拠点としての役割を認識できるような見学会となりました。

航行中には、冒頭の質問が出た、小学生を対象にした海の相談室を開催し、下船後にはロープワークの実習も行いました。

